



## 双葉の表現活動 ～今年度の一場面から～

今年1年をふり返るにあたり、さまざまな活動の様子の写真を見返しました。

まず1枚目は、全校生で行っているスピーチの写真です。本校では、全校生の前で行うスピーチ活動に取り組んでいます。スピーチでは、発表者が話し終わると、聞き手の児童からいくつも質問が出ます。この双方向のやり取りを初めて見たとき、当たり前のように誰かの言葉に答えていく姿をととても好ましく感じました。さて、スピーチをする児童は、あらかじめ話すことを準備するのですが、その際に、国語の教科書に掲載されている「言葉のたからばこ」を参考にします。これは、発表する児童の語彙を増やすために活用するのですが、聞き手も、どの言葉を参考にしたのか分かるようです。進行役の教師の問いかけに、「〇〇を使っています。」と答える姿から、聞き手にとっても言葉を意識できる機会なのだと分かりました。



次の写真は、フリートークです。フリートークでは、縦割り班ごとに分かれて、決まったテーマに沿って話をします。これは、何か意見をまとめるための話し合いではありません。一人一人が自分の考えや感じたことを伝え合い、また受け止め合いながら進めていきます。そうすることで、自分と同じ立場の考えを聞いて共感したり、違う立場の考えを聞いて見方を広げたりする機会になっています。フリートークは高学年の進行で進められていますが、工夫して黒板に書き留め「見える化」したり、誰もが話せるように声をかけたりしています。そんな先輩たちの姿を見つめている後輩たちが、やがて同じように高学年として立派に活動する、そんなつながりが続いていることを感じられる場でもあります。



双葉小学校は、小規模であることをいかに、どの児童にも自分を表現する機会を多く確保しながら表現する力を伸ばす取組を続けています。ただ、この取組には、児童相互の関わりが重要であると考えています。上記のように児童同士がお互いの姿を見合い、言葉をかけ合うことでさらに伸びていく機会になっています。また、比延小学校との交流や自然学校での4校交流など、学校外の場でもその力を発揮し、自分の考えを述べる姿が見られました。双葉小学校の表現活動は、日々のこのような取組の積み上げで成り立っています。これからも、先輩たちから後輩たちへつないでいくこと、さまざまな機会をとらえて、双葉から広げていくことも大切に取り組んでまいりたいと思います。

保護者の皆様、地域の皆様には、今年度も本校教育にあたたかなご支援をいただき、誠にありがとうございました。来年度も、本校の教育活動にご理解ご協力をいただきますよう、よろしくお願いいたします。

# 3月のこよみ

| 月                | 火                           | 水              | 木  | 金                  | 土  | 日     |
|------------------|-----------------------------|----------------|----|--------------------|----|-------|
|                  |                             |                |    |                    | 1  | 2     |
|                  |                             |                |    |                    |    |       |
| 3                | 4                           | 5              | 6  | 7                  | 8  | 9     |
| 委員会活動<br>卒業式会場準備 | 特活タイム<br>卒業式会場準備<br>学校評議委員会 | 卒業式練習開始        |    |                    |    |       |
| 10               | 11                          | 12             | 13 | 14                 | 15 | 16    |
| 朝のスピーチ           | 特活タイム                       | 学習クラブ          |    |                    |    |       |
| 17               | 18                          | 19             | 20 | 21                 | 22 | 23    |
|                  | 通学区児童会<br>大掃除<br>14:40 下校   | 給食最終日<br>卒業式準備 |    | 卒業証書授与式<br>12:00下校 |    |       |
| 24               | 25                          | 26             | 27 | 28                 | 29 | 30・31 |
| 修了式              | 春季休業日(～4/7)                 |                |    |                    |    |       |

《4月の予定》 7日(月)始業式  
8日(火)入学式  
9日(水)給食開始

21日(月)・22日(火)家庭訪問  
26日(土)参観日・PTA総会・自然学校説明会  
リサイクル(持ち寄り)・学校評議委員会  
28日(月)社会科見学旅行(潮干狩り)

## ◇ 保護者アンケートの集計結果から ◇

「学校評価 保護者アンケート」のご協力をありがとうございました。皆様からいただいたお声は、来年度の本校教育の実践にいかしていきたいと思っています。なお、紙面の都合上、回答の一部のみご紹介させていただきます。

- 学年をこえた交流活動を通した自己有用感を高める取組や、学校行事を通した表現力の向上に関する評価項目については、よくできる・できるが100%近い高評価でした。小規模校の特色ある取組である異年齢交流や環境体験活動をする中で、子どもたち同士の声かけや助け合う姿が多く見られています。今後もこのような取組を行いながら、児童の内にある非認知能力を育みたいと考えています。
- 情報機器を活用した授業づくりや情報モラル教育の充実の項目においても、よい評価をいただきました。今年度の親子人権学習では、全ての学年で情報モラルについての学習を行い、親子で講演を聴くことで、これからのネット社会を生きる子どもたちに必要となることを学びました。しかし、保護者の方の感想の中で「タブレットが人と人とのコミュニケーションの機会を薄めている気がした。できるだけ使わないでほしい。」というご意見もありました。タブレットの使い方については、ルールを守り、学習としての活用を今後もできるように指導していきます。
- 体力向上につながる取組については、今年度から体育の学習に毎回サーキットトレーニングを取り入れていることも体力づくりの一助になっています。休み時間では、少しの時間でも遊ぼうとする児童が増え、昨年度よりも遊びの種類も多様化して教室にいる児童が減ったと感じます。これからもサーキットトレーニングの継続や全校遊びに体力づくりの要素を取り入れるなどして運動習慣の定着に取り組みます。
- 家庭学習の習慣については、課題が残っています。今年度は、ノート検定で全校生のノートを掲示し自主学習への意欲向上を目指しました。家庭学習の意義や取り組み方についても指導したり、保護者の方のご意見を聞いたりしていきたいと考えています。